



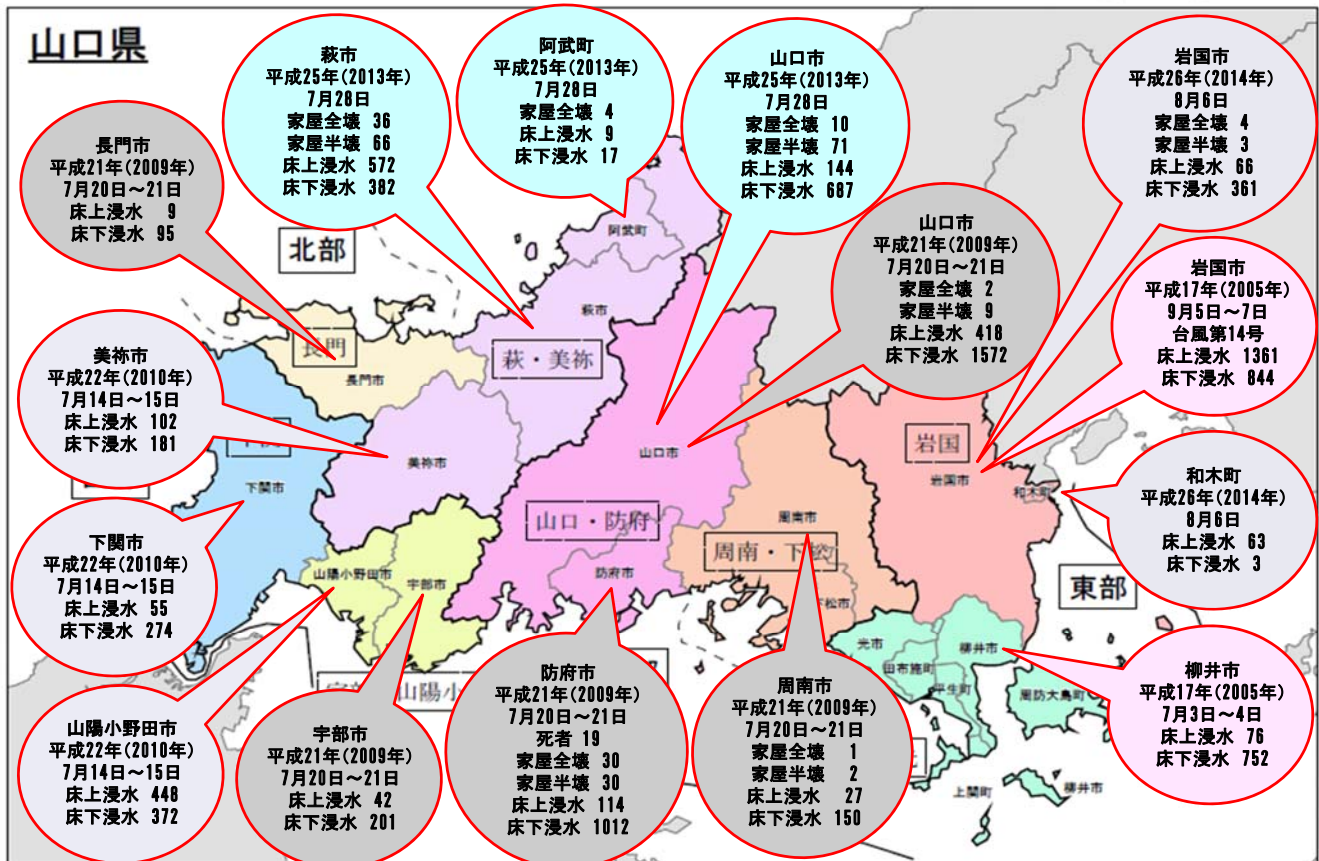
平成28年2月20日 活動報告会

# いのちを守る防災教育を推進する会の取り組み

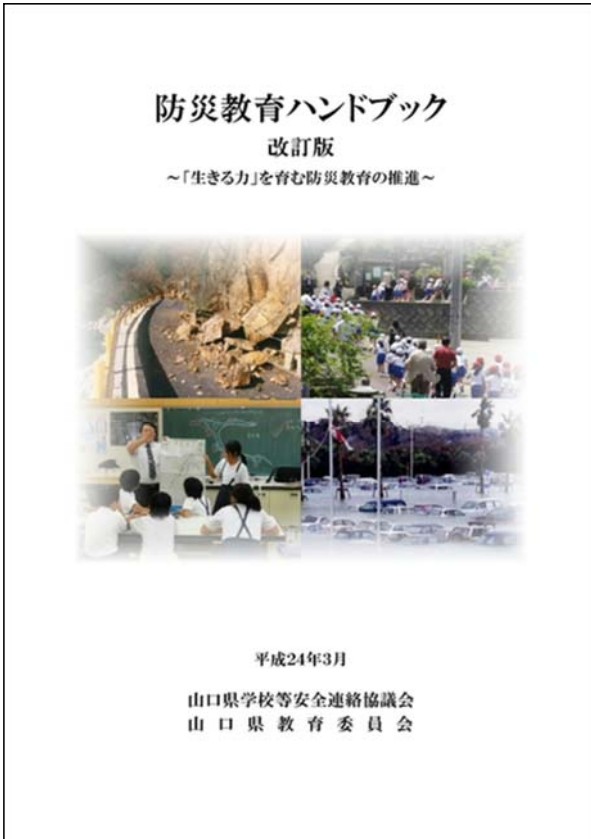


## 大雨災害分布図

平成13年(2001年～)

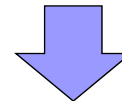


# 山口県の防災教育



## 実践事例

- ・避難訓練
- ・防災センターの見学
- ・防災マップの作成
- ・部外機関講師による図上訓練 (DIG)
- ・炊き出しやAED体験



- 地震や津波に関することや被災後の訓練、授業が多い
- 大雨災害に対しての自助、共助の授業はほとんどないのが現状

# 3つの異業種組織！

 日本赤十字社 山口県支部  
yamaguchi Japanese Red Cross Society

災害救護団体であり、独自の防災教育プログラムを実施し、学校や地域の防災意識向上を目指す。県内に多くの加盟校を有する。

 日本気象予報士会 西部支部  
Certified and Accredited Meteorologists of Japan

防災に関心があり、勉強やボランティア活動に熱心な会員で構成。防災関係職員や教職員、気象キャスターなど職種は様々。

 下関地方気象台  
Shimonoseki Meteorological Office

山口県教育庁と連携した「防災出前授業」など防災教育に取り組んでいる。気象の専門家であり、気象災害等に関する豊富な知識とデータを保有。

## 【目的】

- ・防災に関する普及啓発活動をより**効率的**に
- ・加盟団体の特長を活かしてより**効果的**に
- ・**継続**できる仕組みづくりのために



# なぜ大雨防災ワークショップ？



ファシリテーター  
専門家



地形、住居、家族構成を設定して、避難を考える

コミュニケーションを通じ「気づき」と「学び」により災害に強い人を育てる

## H27年度 WS実施状況

2015/6/11 山口県立西市高等学校

2015/9/29 美祿市立綾木小学校

2015/7/15 萩市立大島小・中学校

2015/7/7 萩市立万川中学校

2016/1/23 防府市立小野小学校

2015/9/8 山陽小野田市立埴生小学校

2015/11/6 萩市立川上中学校

2016/1/21 岩国市立そお小学校

2015/8/18 防災教育セミナー

2015/10/22 下松市立久保小学校

2015/10/14 下関未来大学

2016/1/20 防府市小中学校長研修会

2015/12/17 下関市立本村小学校

2015/5/21 宇部市立黒石中学校

2015/9/27 宇部市立小野中学校

2015/11/9 山口県教職員研修会

2015/6/2 山口県立徳山商工高等学校

地図データ ©2016 Google, SK planet, ZENRIN

# PDCAサイクルによるワークショップシナリオ改善

- 山口県教育庁との連携
- 日本赤十字加盟校の協力

- クラス担任が授業でWS実施
- 教師向けのWS実施

計 画 表				
日付	予定	対象	参加者	ファシリテーター
5/21	宇部市立黒石中学校	中1	31名	予備士 1名
5/29	宇部市立黒石中学校	中1	31名	担任(理科)
5/29	宇部市立黒石中学校	中1	30名	担任(国語)
5/29	宇部市立黒石中学校	中1	30名	担任(美術)
6/2	県立徳山商工高校	高3	39名	気象台 1名
6/11	県立西市高等学校	高2	43名	予備士 1名
7/7	萩市立田万川中学校	全校	55名	予備士 1名



- WSシナリオ改良
- 山口県版マニュアルの作成
- 資料のパッケージ化



- WS後の意見交換会
- 校長・教師（他校からも見学）
- 市町の教育・防災担当者 など

## 大雨防災ワークショップシナリオの改善

山口県内の災害の映像・画像を採用

### WS実施後の教師等からの意見を反映してシナリオを改善

- ワークショップを生徒が身近に感じられるように山口県で発生した災害や地域の災害特性を加味
- 学校の授業時間の中で実施できるように改善
- 専門家でない学校の先生が実践するための資料の充実



会議での検討の様子



河川のはん濫

2013年7月28日  
山口県萩市須佐集中豪雨



がけ崩れ

平成25年7月28日記録的な大雨  
(阿武町)

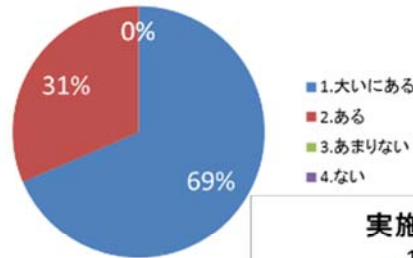


# 山口県教職員研修会でのワークショップ



- ・これまでのワークショップの成果をアピール
- ・マニュアル等を配布し、学校での実施を依頼

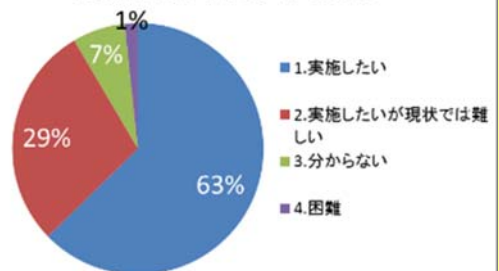
防災教育としての効果について



11月9日  
対象：教職員  
124名

## アンケート調査結果

実施したいと思いましたが



- ☆ 防災教育としての効果を高く評価！
- ☆ 「自分たちの学校でも実施したい」との多くの声！

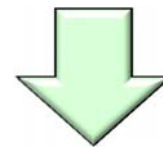
9

忙しくて時間がない！



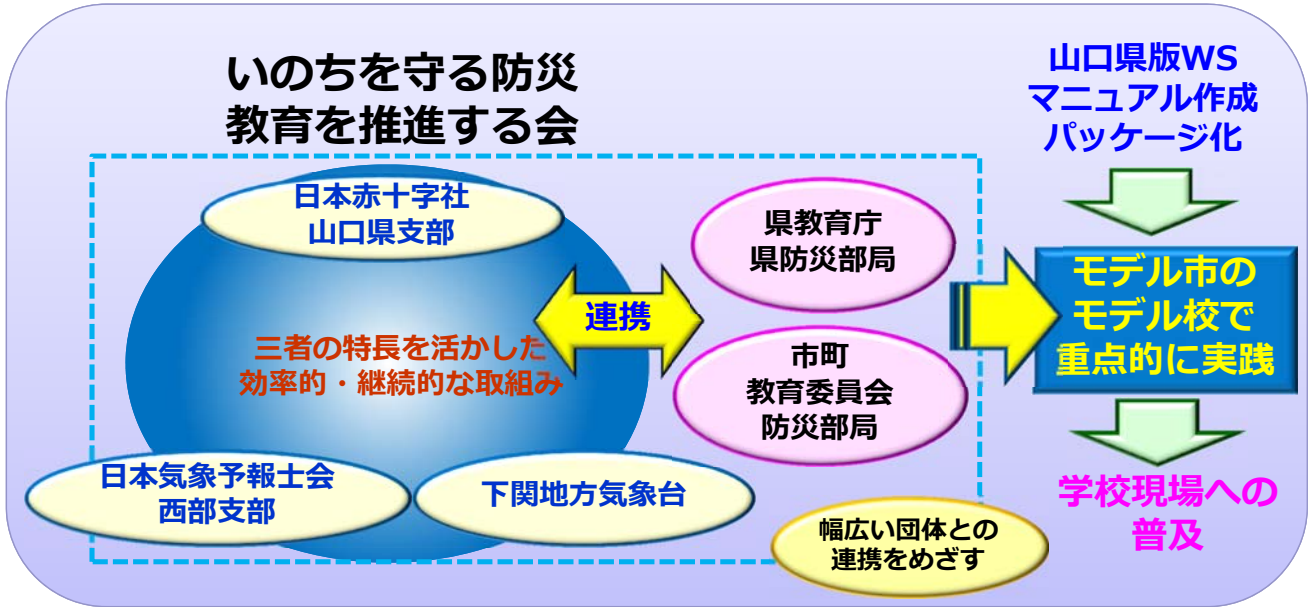
- ・ 学校長にアピールする  
(モデル校)
- ・ 市町で一体となった取り組みをする  
(モデル市町)

やりかたがわからない！



- ・ マニュアル用意 (済)
- ・ ビデオ等のより使いやすい教材の開発

# 今後の展開（モデル市・モデル校での実践）



学校が単独でワークショップを行なえるよう実践者となる教職員を育成するために、モデル市（防府市）と連携して重点的にワークショップを実践

# さらに発展した防災教育へ

ワークショップだけでなく日赤の防災・救護プログラム等も活用

## 大雨防災ワークショップ

## 青少年赤十字 防災教育プログラム

## 救急法講習

## 防災減災講習

命守会の3団体の特長を活かした救護などを含めた「総合的な学習」としての防災教育の取り組み

# まとめにかえて

## (ファシリテーター経験者からのコメント)

- 山口県内の災害を見てもらうことで災害を身近なものとして捉え、その後のWSの大切さを実感し取り組んでもらえた
- 地域に根ざしたレクチャーがあつてこそ、どう行動するかを考えるWSで刻一刻と変化する気象状況を想像しながら真剣に取り組むことができた
- 実施後に先生方の意見を聞きながら内容の見直しを繰り返したことで、完成度の高いプログラムへと仕上がった
- 小学3年生を対象に実施したが、想像力を働かせて命を守る行動を考えるというゲーム性によりすんなりと受け入れられ、発表まで見事にこなせた。このプログラムが年齢を問わず、大人から子供まで幅広く使ってもらえるもの
- 教職員・保護者・地域住民も一緒に参加することで、大人が子供たちの意見に大いに刺激を受けていた。子供たちの意見で、お年寄りや自分より小さな子供のことを気遣う内容など、大人顔負けのリーダーシップを発揮する意見も出た
- このWSは大人に指示されて行動するのではなく、自分達が主体となって家族をどう守るのかを考えるというのが大きな特徴で、その効果に学校側も大いに期待を持ってくれていると実感した
- このWSを経験した子供たちが、将来、地域の防災リーダーとなってくれることを願い、更にこの活動を広めていきたい。

13

# ご清聴ありがとうございました

14